

## 景況実感調査(2017年9月)特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適當な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

### 薄板・表面処理鋼板

- ① メーカーの引き受け量削減や転炉トラブルで、足下の在庫量は減少傾向にある。この傾向が続けば価格も、もう一段階上がるだろう。
- ② 実働20日となり前月比1日増。足下数量は増加傾向となり、売上は値上げ分との相乗効果もあり約10%増となった。力強さは実感できないが10月以降は上期以上に財源もタイト化(店売りカット)がアナウンスされ、建築需要の出現と相まって活況が期待出来るのではないか。運賃や労務費の上昇も足下は上昇しており販売価格への転嫁は喫緊の課題となってきた。
- ③ 高炉メーカーの更なる強硬値上で、月次決算の赤字が続いている。京浜製鉄所の事故で市中在庫はタイトになると思われるので、今ある在庫を高く買ってくれる先に売るしかない。安い値段の大量買いには対応している状況ではない。
- ④ 値上げを転嫁しきれていない。転嫁は急務だ。需要家の荷動きも全般的に上昇してきていることと、タイト感があるので上手く転嫁していきたい。メーカーからの入着が遅いため、デリバリーがタイト化しているところがネックだ。

### 中板

- ① オリンピック関連も含めて、実需は特約店筋への引合いに表れて来ており、加工は堅調に推移している。また、歯抜けとまではいかないが、コイルの調達難もあって定尺市況は値上が加速されている。

### 厚板

- ① 建産機や工作機械、建築、土木などの生産が伸び、本格的に盛り上がってきた。10月以降も期待したい。

### 开形鋼

- ① 一日当たりの売上高、粗利高は微差ながら8月の方が良かった。9月を終えて感じるのは、繁忙感に欠けること。それは、現場の残業が皆無であったことによる。需要期入りという強迫観念とオリンピック需要が出だしたという過度な期待を払拭して臨むべきだ。

### 工开形鋼

- ① 9月の倉出しは若干プラス。期待していたが、引合いと荷動きに変化は無い。メーカーはタイトで、10月以降の需要はあるので、価格をもう一段上げていく。
- ② メーカー、流通共に方向性は一致している。この動きが長く続けられるかがポイントである。

## 異形棒鋼

- ① 在庫販売は、土木向けが堅調で荷動きも底堅く、加工も順調であった。物件向け販売は、中小の需要家が少ないこともあって、競争が激しく受注は不振。
- ② 在庫店売りの9月、10月初めの動きは低位横這い。単価は上がって来ている。11月は昨年と同じく動くと思う。

## 平鋼

- ① メーカー値上げに伴い、一部に仮需も発生。市中は建築関係を中心に動きが出て来ている。スクラップ高止まりのため、更なる値上げの可能性もあり、価格転嫁はしっかりと進めていきたい。

## 車巻量形鋼

- ① 店売りの日当たりは微増だが、メーカーの供給が厳しくなってきたので値上げの環境は整ってきたはずだ。
- ② 前月がかなり悪い数字であったため、今月は少し持ち直した感あり。ただし、前年比では悪い数字となっている。今後もマンション向け中心に受注はやや落ち込む見込み。
- ③ 期間限定(3ヶ月位)で増産の見込みあり。

## 鋼管

- ① 土木関連を中心に荷動きは回復しつつある。値上げに取り組んでおり、市況は強含みで推移。
- ② 値上げ局面となり、やや引合いも増えつつある。
- ③ 年末に向けて見積り依頼が増加。

## 構造用鋼

- ① 需要動向については、自動車関連部品、建設機械関連および工作機械は堅調に推移しており、しばらく続くともと思われる。各メーカーは紐付きを中心に高操業が続いているが、店売りの荷動きはあまり振るわない状況となっており、メーカーとの温度差が続いている。市況については、各メーカーの追加値上げが実施され、転嫁せざるを得ない状況となっており、再販価格の値上を進めている。
- ② 各メーカーの値上げ実施後の材料が少しずつであるが入荷して来ている。客先への価格転嫁が急務となっている。
- ③ 細かい切断の注文が増加。出荷量は横這い。作業は増加傾向。

## 鋼材全般

- ① 8月と比較すれば、多少荷動きが良くなったが、例年の9月と比較すると悪い。仕入価格の上昇で、販売価格を上げなければならないが、市況の動きが良くなって来ていない。10月上旬には転嫁が完了しないと収益が出なくなる。
- ② 鉄筋等を中心とした各種仕入品の値上げが利益を圧迫している。

## その他

### <スクラップ>

- ① 高止まりしていたスクラップ価格は、海外市況にマイナス要因もあり調整局面に。今後の動き次第では、更に市況は下がってくる可能性もあり得そうだ。

### <金属表面処理加工>

- ① 9月は物件物、紐付き共に計画通り。スポットも小ロットではあるが件数も多く計画通りの扱い量となる。引合いも順調で10月以降も期待出来そうである。亜鉛の高騰によりジंक系塗料が値上がり。価格転嫁を検討中。